西播磨の山城を訪ねて

―守護赤松の時代から秀吉の播磨進攻までの９山城跡―

＋1

西播磨地域ビジョン委員会
～史跡と食を巡るチーム～
事務局：兵庫県西播磨県民局　県民交流室　県民活動支援課
〒678-1205　赤穂郡上郡町光都 2-25
TEL 0791-58-2128

西播磨には数多くの山城があります。

鎌倉末期から、室町時代にかけてこの地域一帯を支配した守護大名赤松円心一族が、１４４１年の室町将軍足利義教を暗殺し幕府軍と戦った嘉吉の乱で滅んだ後、山名氏の支配を経て、応仁の乱に乗じた赤松一族の再興があり、後期赤松時代となるも、天下取りを目指す織田軍団の羽柴秀吉による播磨進攻により、赤松の城はことごとく落城。西播磨は平定され、さらに、一国一城令が出された江戸時代に入り、より居住しやすい平城への立地が進んだため、ここに３００年間続いた山城の時代が終わります。

その代表的な山城跡を、訪ねてみましょう。

はじめに

私たち、ビジョン委員「史跡と食を巡るチーム」メンバーは、歴史、食という観点から西播磨の良いところをみなさんに発信していきたいということで活動をしてきました。

私たちが実際に登った山城の情報と、西播磨地域にある古民家レストラン・カフェをひとまとめに紹介したこのパンフレットを手に、西播磨を訪ねてくださる方が増えていけば、とても嬉しく思います。

◆城 山 城・・・岩場が多く、登るのが本当に大変でした。時間もかかるので、休憩を適度に取ってください。
◆楯 岩 城・・・急な傾斜かつ砂地がむき出しの箇所もあるため、滑って転ぶ可能性があります。
◆感状山城・・・途中までは階段があり、山道はよく整備されています。中腹で、方向に迷わないようご注意を。
◆尼子山城・・・岩場が多いですが、登りやすいです。登山道から望める瀬戸内海が美しいですよ。
◆篠ノ丸城・・・山の中腹まで車で上がることも可能なので、準備だけしっかりすれば気軽に登れます。
◆長水山城・・・平成３０年７月の豪雨で、一部登山道が岩だらけです。また、草が伸びている箇所もあるため、夏場はヤマビルに要注意。
◆聖 山 城・・・山道は落葉だらけでかなり滑りやすいです。雨の翌日等に登るのはおすすめできません。
◆利 神 城・・・現在、登ることはできません。早く登れるようになれば、嬉しいですね。
◆上 月 城・・・聖山城に次ぐ、登りやすい山城です。登山道もきれいに整備されています。
◆白 旗 城・・・岩場が多く、傾斜が急なところもあります。苔が生えた岩も多いので安全に気をつけて。

山へ登る時は準備をしっかりと！

□動きやすい服装、靴　□帽子　□飲み物　□タオル　□軍手
□杖（必要な方）　□ビニール袋　□かっぱ　□動物よけの鈴
□虫除けスプレー（夏はヒルに注意）　□荷物はリュックサックへ

用語集

◆堀切（ほりきり）・・・敵の侵入防止等のために山の尾根を人工的に削って作った溝。
◆曲輪（くるわ）・・・城の内外を土塁や石塁、堀切などで区画した平らな土地の部分。
◆須恵器（すえき）・・・古墳時代から平安時代まで生産された土器。
◆土塁（どるい）・・・敵や動物などの侵入を防ぐために築かれた、土でできた壁。
◆石塁（いしるい）・・・敵や動物などの侵入を防ぐため、石を積んで作られた壁。

たつの市

城山城（きのやまじょう）

標高 458m／馬立地区登山口から登る
所要時間 6 時間（昼食・休憩込み）

難易度：★★★★★

古代と中世のハイブリッド山城

城山城は赤松円心の三男である赤松則祐が上郡町の白旗城に代わる居城として築いた。もともとこの地には大和朝廷が唐・新羅の侵攻にそなえて築城した古代山城があり、赤松氏はその古代山城を利用する形で、この広大な城山城を置いたのである。嘉吉元年（1441 年）に起きた「嘉吉の乱」では赤松満祐がここで籠城したが、山名宗全らの軍勢に攻められ、一族は自害。落城する。

見張り岩からの景色はとても美しい。足元の急なところがあり、木の枝や張られたロープ等の手がかりを掴んで進むとよい。経験者と一緒に登ると安全である。

石塁など古代山城の遺構と、堀切など戦国時代の山城の遺構がそれぞれ残っており、非常に珍しい山城跡と言える。

古代山城の門礎石が残っています。

山頂には大きな「亀池」があり、かつてはこの水を巡って争いがあったそうです。

立派な中世の石垣が見られました。

太子町

楯岩城（たていわじょう）

標高 250m／若王子神社から登る
所要時間 3 時間

難易度：★★★

曲輪跡、巨石、古墳等の歴史が多く残る山城

楯岩城は巨石が楯（たて）のように並んでいることからその名がついたと言われる。別名、太田城。赤松円心の孫の一人にあたる赤松則弘が、建武年間（1334～1338 年）にこの城を築いたとされ、赤松一族の居城となるが、羽柴秀吉の播磨進攻で滅んだとされている。

曲輪跡が非常に多く残っており、巨石も多く転がっていた。周辺には４４基の古墳群もあり、城山付近からは須恵器の破片等も発掘できるそうだ。

現在、本丸跡にはテレビ塔が設置されており、周囲の道はとても開けている。江戸時代は旗振り、狼煙の中継所であった。

それほど難しい山ではない。山頂から下山の際の道間違いには注意を。また、若王子神社からの登山道は斜度が急なため、足全体を地面につける方法で登り降りするとよい（フラットフィッティング）。

途中、国道２号線が望めました。

城の名前の由来となった「楯のように見える岩」が多くありました。

スリップに要注意。

相生市

感状山城（かんじょうさんじょう）

標高 301m／羅漢の里登山口から登る
所要時間 2 時間（休憩込み）

難易度：★★

雄大な規模と眺望の広域城郭

西播磨随一の石垣群があります。

鎌倉時代に瓜生左衛門尉という人物が築いたと伝えられ、城名は建武３年（1336 年）、赤松円心の三男則祐が、新田義貞の軍勢をこの城で５０余日にわたり足止めをした結果、足利尊氏より感状（感謝状）を与えられたことに由来するとされる。羽柴秀吉の播磨進攻で落城したと伝えられている。平成８年に国指定史跡とされた。

登山道はきれいに整備されており、比較的登りやすい。岩の上を歩く際には滑らないよう注意を。

規模が雄大で眺望も良く、建物跡や石垣など、遺構がよく残されている。石垣については築城当時のものではなく、戦国時代に改修されたものであると考えられている。その他、井戸や大手門跡も確認できる。

羅漢の里から登れるため、羅漢の里もみじまつり（かかしコンテストで賑わう）の季節の登城がおすすめである。

昔はこの大きな岩の上にやぐらがあったのかもしれません。

赤穂市

尼子山城（あまこやまじょう）

標高 259m／高野地区登山口から登る
所要時間 2 時間（昼食・休憩込み）

難易度：★★

清流千種川の向こうに瀬戸内海

頂上の神社には、山城跡を示す札が立っています。

築城時期の詳細は不明。天文７年（1538 年）の尼子氏の播磨侵攻により、一時尼子氏の城となる。城主は尼子義久とされる。

この城を正面から攻めた毛利軍が、天然の要塞を攻めきることができず頭を抱えていたところ、尼子山麓の集落に暮らす老婆が抜け道を毛利軍に教えたためにそれが攻略の鍵となり落城した、という言い伝えが残っている。

頂上から少し西に、なぜこんなにも大きな岩がと思うほどの巨岩が露出しており、落下寸前の様相を呈している。これは城が攻められた際に山頂から岩を落下させ防いでいたことの名残と思われる。

山頂に向かう道は、整備されており比較的分かりやすい。また海が近いため、途中から瀬戸内海を望むことができる。また、山頂の本丸跡には現在、尼子神社が鎮座されている。

瀬戸内海を臨む景色が最高です。

宍粟市

篠ノ丸城（ささのまるじょう）

標高 324m/紅葉谷公園から登る
所要時間 1 時間

難易度：★

黒田官兵衛「山崎の城」の推定山城

山頂本丸跡には山城趾を示す石碑があります。

篠ノ丸城は赤松円心の孫の一人にあたる赤松顕則が貞和年間（1345～1350 年）頃に築城したとされ、羽柴秀吉の播磨攻めの際に、長水山城と共に落城した。

『黒田家譜』に書かれた黒田官兵衛の居城である「山崎の城」と推定されているが、その確証は得られていない。

地元で「もみじ山」として親しまれている最上山にあり、登山道はきれいに整備されている。本丸跡は広く、石碑等も建っており、二の丸からの眺望も良い。なお、山の中腹まで車で上がることも可能。

遺構は土塁や堀切が主であり、石塁等の分かりやすいものが少ないため、整備された看板等で確認するのが良い。

最上山もみじ祭りの時期の登城がおすすめである。

本丸跡は広くひらけています。

二の丸跡には展望デッキがあります。

宍粟市

長水山城（ちょうずいざんじょう）

標高 584m／伊水小学校登山口から登る
所要時間 3 時間 30 分（昼食・休憩込み）

難易度：★★★

播磨北西部　大規模な石垣の残る中世山城

長水山城は、南北朝時代に播磨守護 赤松則祐が築いたとされ、嘉吉の乱以降は宇野氏の城として使用された。宇野氏は羽柴秀吉の播磨攻めに最後まで抵抗したが、奮闘むなしく天正８年（1580 年）に落城、ここに播磨の戦国時代は終焉となった。

登山道の一部は平成３０年豪雨の影響でかなり荒れているため注意して登ること。急勾配でもあるので、適度に休憩をとりながらゆっくりと登ることをおすすめする。

山頂本丸の石垣はとても高く一見の価値あり。また見晴らしもよく、篠ノ丸城や聖山城といった山も見渡すことができる。

本丸跡地には「信徳寺」というお寺があり、他の山城とはまた違った趣がある。

山頂とは思えぬ大きな石垣があります。

宍粟市

聖山城（ひじりやまじょう）

標高 168m/篳篥（ひちりき）神社登山口から登る
所要時間 30 分

難易度：★

町並みを望む、秀吉軍本陣跡の城

戦国時代、下村氏によって築かれたとされる山城。現在の宍粟市役所東に位置する聖山に築かれた城である。天正８年（1580 年）の羽柴秀吉の播磨進攻の際、長水山城を攻めるため、秀吉の軍勢はまずこの城を確保した。この聖山城からは、長水山城、篠ノ丸城を望むことができ、攻略の際に非常に有用な城であったためである。秀吉軍はこの城に本陣を置き、まずは篠ノ丸城、続いて宇野氏が籠もる長水山城を落城させ、ようやく、播磨を平定したのである。

平成３０年７月の豪雨により、山頂に行くまでの道に倒木あり。ただし、山頂真下にある愛宕神社には登ることができ、山崎の町並みを一望することができる。この景色ならば攻めてくる相手も簡単に見下ろすことができたと思われ、いかにこの城が戦略的に重要な拠点であったかを知ることができる。

佐用町

利神城（りかんじょう）

標高 373m／現在登城不可

難易度：—

朝霧に浮かぶ絶景の雲突城

利神城は、南北朝時代に白旗城の北の守りとして赤松一族の別所敦範が貞和５年（1349 年）に築き、城主は代々別所氏が務めたとされる。しかし、天正６年（1578 年）、織田方の尼子軍に攻められ、利神城は落城する。

その後、関ヶ原の戦い以降、利神城の城主は池田氏となる。現在見られる城の姿は、慶長６年（1601 年）に城主の池田由之が行った大改修の名残であり、現在も高さ１０m近くの長大な石垣が確認できる。大改修当時は天守閣等も築かれており、その空に高く伸びる姿から、別名、「雲突城（くもつきじょう）」とも言われている。

平成２９年１０月に国指定史跡に指定された。ただし、石垣崩落の危険性があるため、現在は登山が禁止されており、麓からのみその姿を見ることができる。

佐用町

上月城（こうづきじょう）

標高 140m／上月歴史資料館登山口から登る
所要時間 1 時間

難易度：★

播磨・備前・美作 三国境目攻防と悲劇の城

上月城は鎌倉時代末期（1300 年代）に赤松系の上月景盛が太平山に築城したのが初めてと言われている。その後、本城を現在の荒神山に移したが、嘉吉の乱で上月氏は滅亡。以降、山名、赤松、尼子の攻防があり、赤松の城となった。

天正５年（1577 年）、羽柴秀吉の播磨進攻により落城し、秀吉はこの城を三国境目の重要な城と評した。この時の秀吉軍による攻め方は、城内の者を全て殺害という凄惨なものとなったことは有名である。

落城後は尼子氏や山中鹿介らが入城するも、翌年天正６年（1578 年）には毛利に攻められ開城。尼子氏の終焉の地となった。

登山道は整備されており、何より短時間で山城跡に着けるため、初心者の最初の挑戦先としておすすめである。そこまで高く登らずとも景色が楽しめる。

山城跡はよく整備されており、初心者にも優しいです。

麓をよく望めます。

上郡町

白旗城（しらはたじょう）

標高 440m／西山麓登山口から登る
所要時間 4 時間（休憩込み）

難易度：★★★★

白い旗が舞い降りた「落ちない城」

足下に注意。

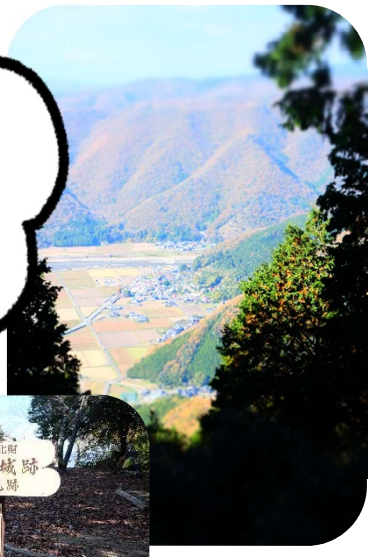
建武３年（1336 年）、赤松円心が築いた山城。感状山城と同じく、こちらでは赤松円心が新田義貞の軍勢を足止めしたとのことから、「落ちない城」として有名である。平成８年に国指定史跡となった。

城名は、この城に源氏の氏神である京都の石清水八幡宮から強風に乗って白い旗が飛んできたという言い伝えに由来している。これは、赤松氏は正当な源氏の流れを汲む武家であるということを示している逸話でもある。

登山道は険しく、さらに苔むした石が転がっているため足元に注意。これらの石は、新田義貞軍を足止めするため、山頂から落としたものではないかと言われている。現在は木々が多く、景色の全てを見渡すことはできないが、山頂からは麓の一部を望むことができる。

白旗城まつりの際にガイドと共に登ることができる。

麓を望むため、山頂の木々は切られています。下から強い風が吹き上げてきます。



山城とともに巡る古民家ランチ

わたしたちの活動を
インターネットでも知ってください！

たつの市

①菓子と珈琲　朔（さく）
たつの市龍野町川原町106
TEL　0791-72-8239
定休日：木曜日・第3金曜日

赤穂市

②日本料理　二条
赤穂市坂越788
TEL　090-7365-5000
定休日：月・火・水曜日

赤穂市

③暖木（のんき）
赤穂市坂越2022
TEL　090-1240-7461
定休日：火・水曜日

宍粟市

④cafe遊山（ゆさん）
宍粟市山崎町山崎403
TEL　0790-71-0979
定休日：日・月曜日・祝日

宍粟市

⑤遊楽里（ゆらり）　農園&cafe
宍粟市千種町七野313－1
TEL　0790-71-0471
水・木・金・土曜日のみ営業

佐用町

⑥古民家カフェ　moku×moku
佐用町弦谷240
TEL　070-2311-3636
土・日曜日、祝日のみ営業

佐用町

⑧古民家ダイニング　道満
佐用町才金796－6
TEL　0790-87-0839
定休日：月・火・水曜日

佐用町

⑦jardin et cafe　えとらんぜ
佐用町平福459
TEL　090-6069-1435
定休日：月・火曜日

令和元年１２月発行